

第3学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識・技能〕</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考・判断・表現〕</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>
教科書	国語3（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	国語のワーク3（光村教育図書）漢字ノート（新学社）国語便覧（浜島書店）すらすら基本文法（浜島書店）観点別評価Wプリント（新学社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。</p> <p>(1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等）</p> <p>(2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等）</p> <p>(3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）</p>	<p>各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。</p>	<p>各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。</p>
<p>・テスト（定期、単元、技能等）</p> <p>※技能：音読、スピーチ、書写作品等</p> <p>・授業の活動や発言</p> <p>・指導に対する成果物（ワークシート、レポート、作品等）</p>	<p>・テスト（定期、単元等）</p> <p>・授業の活動や発言</p> <p>・指導に対する成果物（ワークシート、レポート、作品等）</p>	<p>・授業の活動や発言</p> <p>・指導に対する成果物（ワークシート、レポート、作品等）</p> <p>・振り返り</p>

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ワークシート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・副教材等を活用し、復習をすることで、学校で学んだことを定着させましょう。 ・自分の弱みを改善できるような内容や方法を見つけ、自ら進んで学習しよう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	世界はうつくしいと（読） 握手（読） 〔聞く〕意見を聞き、適切さを判断する（話・聞）	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に対する感覚を磨き語彙を豊かにする。 登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 作品の展開を踏まえて、その生き方について考えを深める。 意見や根拠の適切さを判断し、表現のしかたを評価しながら聞く。
5	説得力のある構成を考えよう（話・聞） 学びて時に之を習ふ（読） 作られた「物語」を超えて（読）	<ul style="list-style-type: none"> 説得力のある構成を考え、表現を工夫してスピーチをする。 歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 文章における具体と抽象の関係を捉える。 論説の特性を踏まえ、論理の展開のしかたを捉える。
6	思考のレッスン 具体化と抽象化（情） 論理の展開を意識して書こう（書） 俳句の可能性/俳句を味わう（読）	<ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象の関係について理解を深める。 読み取った情報を基に、論理の展開を意識して構成を考え、説得力のある文章を書く。 俳句の特徴について、理解を深める。 内容や表現のしかたに着目し、俳句を評価しながら読み深める。
7	実用的な文章を読もう（読） 読書を楽しむ/「私の一冊」を探しにいこう（読書）	<ul style="list-style-type: none"> 実用的な文章から情報を読み取り、実生活に生かすにはどうすればよいかを考える。 読書活動を通して、さまざまな読書の楽しみ方や意義を発見する。
9	挨拶 -原爆の写真によせて（読） 故郷（読） 〔推敲〕論理の展開を整える（書）	<ul style="list-style-type: none"> 語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈上の意味や効果を考える。 作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 目的や読み手に応じて、表現や論理の展開の観点から、意見文を推敲する。
10	聞き上手になろう（話・聞） 複数の意見を読んで、考えよう（読） 考えを効果的に伝えよう（書） 初恋（読）	<ul style="list-style-type: none"> 対談を行い、質問のしかたを工夫して相手の思いに迫る。 文章を批判的に読み、論理の展開や表現のしかたを評価する。 対象を多角的に分析して、説得力のある批評文を書く。 言葉の響きやリズムを味わいながら聴き、語彙を豊かにし語感を磨く。
11	和歌の世界/古今和歌集 仮名序（読） 君待つと -万葉・古今・新古今（読） 夏草 -「おくのほそ道」から（読） それでも、言葉を（読）	<ul style="list-style-type: none"> 語句の使い方や表現の効果に注意しながら読む。 和歌が詠まれた情景や心情を読み取り、表現のしかたを評価する。 作品の歴史的背景に注意して読み、古典の世界に親しむ。 言葉との向き合い方について自分の考えをもつ。
12	話し合いを効果的に進めよう（話・聞） 合意形成に向けて話し合おう（話・聞） 本は世界への扉（読書）	<ul style="list-style-type: none"> 効果的に話し合いを進めるために必要な工夫を学ぶ。 立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。 文章を読んで考えを広げたり深めたりする。
1	温かいスープ（読） アラスカとの出会い（読） 律儀な桜（読） わたしを束ねないで（読）	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 筆者の考えを踏まえて、自分の生き方について考えをもつ。 時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせ、自分の考えをもつ。
2	三年間の歩みを振り返ろう（話・聞）（書）	<ul style="list-style-type: none"> 詩の中の言葉や表現から、描かれた情景や心情を捉える。
3	初日（読）	<ul style="list-style-type: none"> 三年間の学びを振り返り、自分にとっての学びを総括する。

※書写は、国語科の授業の中で年間10時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。